たのしむユニバーシティ通信

TANOSHIMU-UNIVERCITY COMMUNICATION

2017
第 004 号
発行所
川上塗装工業株式会社
盛岡市三ツ割 3-2-11
電話　019-601-4014

Main Theme

決算書の見方がわからないと思ったら入学!

“決算書ってどう見るの?”講座

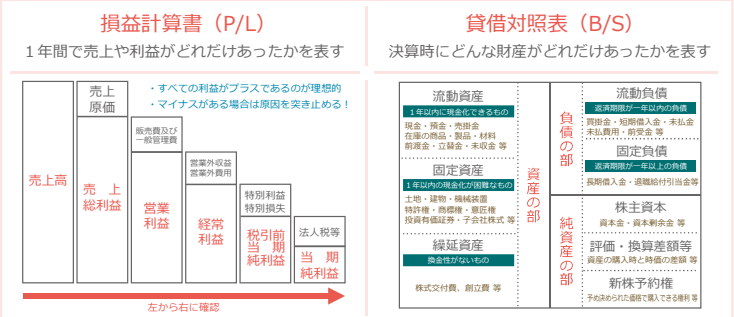
決算書からなにを読み解けばよいのか?

弊社では社員に決算書を公開しています。最近入社した社員に決算書の役割や見方を学ぶ機会を作りたくて講座を依頼しました。

簿記のはじまりは１４９４年。イタリアでまとめられ、欧米に広まりました。日本では１８７３年に福沢諭吉がアメリカの簿記教科書「帳合の法」を翻訳したのがはじまりと言われています。

はじめに「決算」とはなにか。ビジネスを行い、１年でいくら利益が出たかの「経営成績」と「財産状態」を年に一度、総まとめすることです。それを社外の人が見てもわかる成績表として表すものが決算書です。この決算書を元に銀行からお金を借りたり、税金を支払います。決算書からの情報を経営に活かすことで安定的な売上をあげられる会社にしていくことが重要です。

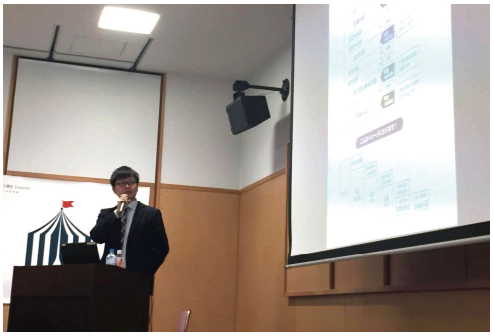
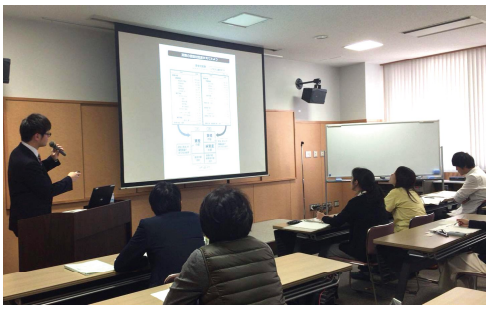
一般参加の方では、会社で経理担当となり、慣れないことで困っていた方などもいて、参考になったとの声もいただきました。一度説明を聞いただけで理解するのは難しいですが、毎月見ていくことで読み解く力をつけていきたいと思います。



講師紹介

糠塚　泰貴 Taiki Nukazuka

岩手県を中心に会計業務を行う«岩手税理士法人»勤務。
盛岡市生まれ。高校卒業後、上野法律ビジネス専門学校にて会計や税務を学ぶ。H24 年 4 月に同社に入社し、企業の会計業務の月次巡回として月間約 10 社を担当する。
若さと親しみやすい人柄を活かし、お客様の立場に立った視点で会計・税務等の適切なアドバイスを行う。

第 4 回
2017.10.13

決算書は１年間の総まとめの成績表